



安心・安全な野菜作りと、地域を幸せにする農業を目指す

ようぎあんしん

養宜安心グループ

兵庫県南あわじ市にある、養宜安心グループ。およそ5月から9月あたりまで、主に関東・甲信越・静岡エリアの店舗へ玉ねぎを出荷されています。若手の積極採用や耕作放棄地の再利用を進める広瀬さんと、次代を担う詳大さん。目指すは農業に関わる人と地域を幸せにする会社！今回はそんな養宜安心グループより、産地だよりをお届けしたいと思います！



▲代表生産者の
広瀬さん(左)と
詳大さん(右)

★産地のこだわりポイント

「良い苗を、長く育てること」。通常より長い期間をかけて生育するのは、淡路島玉ねぎの特徴の1つ。大きく、かたい玉ねぎを育てるため、広瀬さんたちも夏頃から土作りの仕込みを始めています。化学肥料を使わず、緑肥をすきこんだ栄養たっぷりの畝。2～3月頃に中耕（土の中に酸素を送る手入れ）という作業を行うことで、根の生育が促進され、栄養と甘味の凝縮された美味しい玉ねぎに育ちます。



▲あたり一面の玉ねぎ畑。緑色の葉部分（葉身）が倒れてくると、もうすぐ収穫の合図です！

★今期の栽培状況など

今年は例年よりも生育状態が良く、特にGW明けから豊作になる見込みとのこと。玉ねぎのほか、キャベツや白菜も大きく、綺麗に育っていました。

大きくてまんまるな玉ねぎがたくさん育っています▶



収穫直前の新玉。一口かじると、梨のような瑞々しさと甘みが広がります。後味に抜ける辛みも爽やかです。実際にはさらに数日土の中で生育し、より一層甘味の増した状態で収穫しています。

★最後に・・・

「安心安全で美味しい野菜作りはもちろん、農業を通じて地域を元気にしたい」と、語ってくださった広瀬さん。人材育成にも力を注ぎ、恒例の食事会や親睦旅行はスタッフの皆さんの絆を深める機会として大好評だそう。地域や人との繋がりを大切にする姿勢は、まさにモスの理念である「人間貢献・社会貢献」を体現されています。

広瀬さん、ありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします！